



## ご挨拶

舞鶴支部長  
KD 振興委員長 大西 丈 朗

関西潜水連盟創立 40 周年おめでとうございます。10 年一昔と言う時代に 40 年の歴史は非常に重いものがあります。これも村上名誉会長をはじめ諸先輩の方々のダイビングに対する熱意のたまものと感服するところであります。

40 年前と言うと私がダイビングを仕事として活動を始めた頃で、やっと日本にもダイビングの器材メーカーができ、ダイビングが一般的に普及し始めた時代でした。当初 ショップをオープンしたものの綺麗な日本海の海があっても舞鶴ではレジャーとしてのダイビングが普及するには至らない時代でした。この頃に指導団体が何かであるか解らないまま ITC を 2 回ほど受講した記憶がありますが、作業ダイバーとして仕事を始めた私には永きにわたって指導団体との関わりを持たずに 20 年が経ちました。その間はレジャーダイビングとはほど遠い 1 ヶ月に一度くらいしか休まず毎日の潜水作業、40 歳を超す深海作業も減圧症の知識も何も無いまま潜り、今から思えばあれが減圧症だったのかなと思う事も何度もありました。そして 20 年ほど前、ダイビングメーカーの紹介で関西潜水連盟の村上忠一会長と出会い、KDJapan や指導団体のことなど、いろいろと指導して頂きました。

KDJapan の兵庫支部の会員として入会したのは平成元年頃で、折しも舞鶴自動車道が開通した年、同時に冠島をホームグラウンドとするダイビングサービスを始め、手さくりでのスタートでしたが KDJapan の諸先輩方や多くのダイバーの皆さんのご協力とご指導のおかげで今日に至りました。1999 年には冠島をご利用頂いているクラブや地元のダイバー、クラブの方々に舞鶴支部を立ち上げ、KDJapan の一支部、クラブとして日本海の若狭湾、冠島と福井県高浜町の海を活動の場として KDJapan の活動と発展に努力して参りました。

本部教育委員長、KD 振興委員長として KD マニュアル、指導認定基準、インストラクターマニュアルの作成に携わってきましたが、その中でも沖縄支部の発足と 2007 年度の総会が沖縄で行うことができたことは誠に感慨深いものがありました。

昨今、ダイビング業界を取り巻く環境は大きく変わってきております。他の指導団体にとどまらず、非営利で会員によって運営されている KDJapan におきましてもエントリーダイバーの伸び悩みや会員の高齢化等いろいろと問題がおきてきています。KDJapan が元気になるには各支部所属の各クラブがそれぞれの立場で活発化するしかないと考えております。特に各クラブのクラブ長と各インストラクターのますますの活躍に期待するところが大きいと思います。ITC も随時開催しております。各クラブから若いインストラクターが一人でも多く誕生するようご協力お願い致します。

これからも関西潜水連盟の活性化と発展に微力ではありますが努力していく所存であります。会員の皆様のご指導とご協力をお願い致します。

舞鶴支部長  
KD 振興委員長 大西 丈 朗